

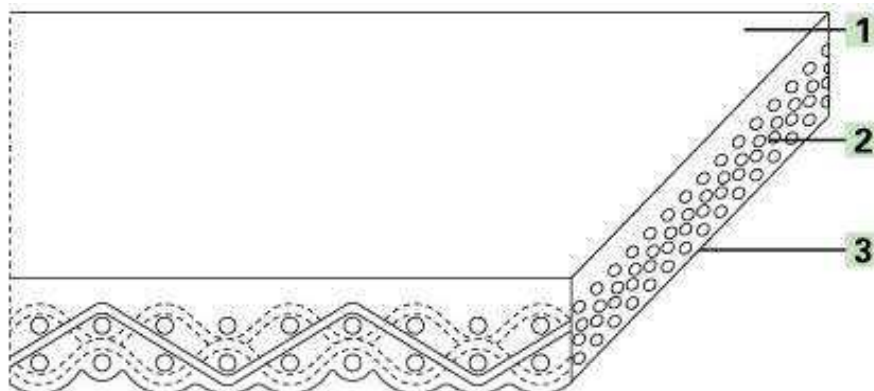
# ハバジット日本株式会社

## 製品データシート

WVT-143

製品概要	
製品グループ:	シリコン被覆搬送用ベルト
製品サブグループ:	
適合産業分野:	一般食品搬送/加工、包装、紙工
製品特性:	磨耗耐性、優れた離型特性、高付着性表面
搬送方法:	下降傾斜、水平、上昇傾斜

### 製品構造(拡大図)



### 製品構造/設計

1 搬送側(材質):	SI(シリコン)
1 搬送側(表面):	平滑
1 搬送側(付着性):	高付着性
1 搬送側(色調):	ホワイト
2 心体層(材質):	ポリエステル織布(PET)
プライ数:	1
3 走行側/プリー側(材質):	ポリエステル織布(PET)
3 走行側/プリー側(表面):	含浸織布
3 走行側/プリー側(色調):	ホワイト

### 製品特性

スベリ台使用:	○
キャリヤローラ:	○
トラフ搬送:	×
カーブ搬送:	×
ナイフエッジ走行:	×
永久帯電防止:	○
金属検知器適用:	○
燃焼試験結果有無(難燃性):	
食品適合 FDA:	○、21CFR parts 170-199準拠。 詳細についてはハバジットへお問合せ下さい。
食品適合 USDA:	
食品適合 EU:	製品はエラストマー類、シリコン類、天然繊維類の物質を含むため、Directive2002/72/ECに不適合。
その他の適合/承認:	厚生省告示第370号

## ハバジット日本株式会社

ベルト厚さ:	1.3 mm	0.05 in.
ベルト重量:	1.3 kg/m <sup>2</sup>	0.27 lbs./sq.ft
ナイフエッジ最小半径:	NA mm	NA in.
最小ドラム／プーリ径(注1):	F 20 mm S 30 mm	0.7 in. 1.2 in.
逆屈曲がある場合の最小プーリ径(注1):	F 25 mm S 45 mm	1.0 in. 2.4 in.
1%伸ばすに要する単位巾当り張力K1% (弛緩時ハバジット規格SOP3-155/EN ISO21181)	4 N/mm	23 lbs./in.
単位巾当り許容引張強さ	10 N/mm	57 lbs./in.
許容温度 連続使用:	最低 -30 °C 最高 100 °C	最低 -22 °F 最高 212°F
搬送品の最高温度:	150 °C	302°F
鋼製駆動プーリ上の摩擦係数:	0.12 [-]	0.12 [-]
ゴム貼り鋼製駆動プーリ上の摩擦係数:	0.35 [-]	0.35 [-]
防錆処理鋼板滑り台上の摩擦係数:	0.16 [-]	0.16 [-]
フェノール樹脂滑り台に対する摩擦係数:	0.25 [-]	0.25 [-]
ステンレス鋼板滑り台上の摩擦係数:	0.20 [-]	0.20 [-]
製造巾:	1500 mm	59 in.

### 化学薬品耐性

耐性等級:	6 (詳細は総合カタログ参照)
備考:	これらの表示は特性を保証するものではありません

### 取り付け / 取扱い要領

初期張率(ε)は0.3%以下にしないで下さい。ベルトを緩めて取り付け全負荷状態で完全にベルトが走行する迄テンションを調整して下さい。

標準ジョイント方式

フレックスプルーフ 10 × 80

サーモフィックス 接合角90° 糊代30mm

注1)弊社和歌山工場試験室による試験データを元に、最少プーリ径を設定しております。

### 保管

詳細はベルト/マシンテープの保管および取り扱いにおける必要事項を参照するか、ハバジットまでお問い合わせ下さい;日光/紫外線/粉塵や汚れからベルトを保護してください。予備ベルトは涼しい乾燥した場所に保管し、出来るだけ運搬時に使用した梱包箱を使用してください。

### 制約

このベルトは高負荷伝動用途として使用するよう設計されたものではありません。厳しい用途での使用が考えられる場合には、ハバジットまでお問い合わせ下さい。

### 製造物責任 使用責任

ハバジット製品の選択と使用は、当該選択および使用がハバジットの正規販売員による推奨に基づいて行われなければならない場合、製品の安全性に関連する領域を含め、顧客の皆様の責任となります。指示・情報はすべて、推奨であり、信頼できるものと考えていますが、通常または特定の使用についてのこれらの正確性または妥当性に関して、明示または黙示を問わずいかなる種類の表明および保証も一切行うものではありません。ここに示されているデータは、試験室内で小規模テスト設備により標準テスト条件で得られたもので、必ずしも工業用途の製品性能に適合するものではありません。新しい知識や経験により、予告なしで短期間に修正・変更が行われることがあります。使用条件はハバジットやその関係会社の支配外のことなので、ここに記述した製品の適合性や処理能力について当社は責任を一切負うことができません。同じことが、処理実績・生産・製造品ならびに発生しうる欠陥、損害、間接損害および更に広範囲の結果についても適用されます。

作成日:2012年8月23日